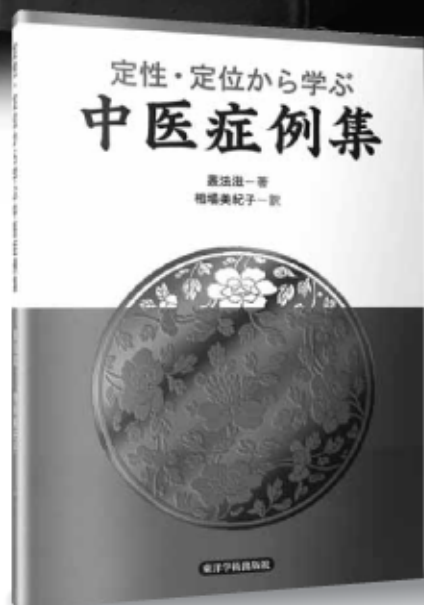


[代表的な症例]で 臨床力を身につける。



時間をかけずに身につけられる…
日本で学ぶ人にふさわしい、
シンプルで実用的な弁証システム。

■ 新しい弁証論治の方法

著者は、多様な中医学の弁証方法をまとめて簡便化し、初学者でも学びやすい「気血水火弁証」という新しい弁証体系を編み出した。この気血水火弁証は、「定性」「定位」を判断することによって病性・病位を明確にすると同時に、病因・病機も合わせて分析することができる方法である。これだけで多くの疾患に対応することができる。あまり時間をかけずに身につけられるのがこの気血水火弁証の大きな特徴で、シンプルで実用的な弁証システムといえる。

■ 日本で初めての中医症例集

中国では、学生は老中医について「抄方」をしながら臨床の実際を学ぶことができるが、教育制度の整っていない日本では、だれもが独学に近いものを強いられているのが現状である。この中医症例集は、叢先生が経験された数多くの症例の中から日本で中医学を学ぶのに最もふさわしいものを選んで編集した練習帳のようなものといえる。これらの症例を繰り返し読むことが、そのまま弁証論治のトレーニングになり、自ずと臨床力がつく。

中医学を学ぶための雑誌『中医臨床』(季刊)ますます面白く、実用的な内容になっています。

 **東洋学術出版社** ご注文は、メールまたはフリーダイヤルFAXで **FAX.0120-727-060**

〒272-0822 千葉県市川市宮久保3-1-5 / 電話047-371-8337 / E-mail: hanbai@chuui.co.jp / ホームページ ● <http://www.chuui.co.jp/> ● <http://www.chuui.com/>

叢法滋著・相場美紀子訳

B5判並製/本文120頁
定価:2,940円(税込)

定性・定位から学ぶ 中医症例集

《「気血水火弁証」という新しい弁証体系》



NOW ON SALE
好評

定性・定位から学ぶ 中医症例集

■主な目次と内容見本

序章 気血水火弁証と定性・定位

- ・シンプルでわかりやすい弁証方法
- ・火の概念と気血水火弁証
- ・気血水火弁証と定性・定位
- ・「定性」「定位」から弁証へ
- ・外感病における気血水火弁証の応用

第1章 定性・定位からみた症例

- 症例 1 頭痛・発熱
- 症例 2 咽頭部腫痛・発熱
- 症例 3 全身の痛み・発熱
- 症例 4 悪寒・発熱
- 症例 5 咽頭部の不調・痰
- 症例 6 咳嗽（肺結核）
- 症例 7 空咳
- 症例 8 喘息
- 症例 9 喘息
- 症例 10 喘息
- 症例 11 腹部の膨満感
- 症例 12 抑うつ症
- 症例 13 胃痛
- 症例 14 慢性肝炎による全身疲労感
- 症例 15 慢性肝炎・食欲不振
- 症例 16 慢性肝炎
- 症例 17 高血圧
- 症例 18 高血圧
- 症例 19 高血圧
- 症例 20 糖尿病
- 症例 21 糖尿病と心疾患
- 症例 22 大量の尿と怠感
- 症例 23 更年期障害
- 症例 24 更年期障害
- 症例 25 動悸・息切れ
- 症例 26 心疾患
- 症例 27 心痛
- 症例 28 心筋炎

- 症例 29 リウマチ
- 症例 30 リウマチ様関節炎
- 症例 31 リウマチ
- 症例 32 脳血栓症の後遺症
- 症例 33 脳溢血の後遺症
- 症例 34 不妊症
- 症例 35 不妊症
- 症例 36 不妊症
- 症例 37 インポテンス
- 症例 38 インポテンス
- 症例 39 インポテンス
- 症例 40 慢性偏頭痛
- 症例 41 慢性偏頭痛
- 症例 42 めまい
- 症例 43 めまい
- 症例 44 不眠
- 症例 45 不眠
- 症例 46 不眠
- 症例 47 アレルギー性鼻炎
- 症例 48 副鼻腔炎（蓄膿症）
- 症例 49 耳鳴り
- 症例 50 耳鳴り
- 症例 51 月経痛
- 症例 52 月経痛
- 症例 53 月経不順
- 症例 54 月経不順
- 症例 55 月経不順

第2章 定性・定位一覧表

1. 気の弁証論治
 2. 血の弁証論治
 3. 水の弁証論治
 4. 火の弁証論治
 5. 複合証の弁証論治
- 附1. 外感病三期弁証表
附2. 方剤一覧表

3. 水の弁証論治

1) 虚証

証型	定性	定位	症状	治法
陰虚証	陰虚	—	主証：午後微熱，両頬の発赤，寝汗，五心煩熱，口咽乾燥（夜間増悪），消渴，舌質光紅，無苔，舌苔花剥，舌質深い裂紋 次証：痩せ型，頭痛，めまい，耳鳴，のぼせ，不眠，カラ咳，痰少，血痰，大便乾燥，尿黄，脈細数	滋陰
津虧内燥証	陰虚	—	口唇の乾燥，口渇，咽の乾き，鼻の乾き，目の乾き，皮膚の乾燥，カラ咳，無痰空腹だが食欲不振，瘦せている，唾液減少，涙が出ない，便秘，大便乾燥，尿濃黄，舌質紅裂紋，舌苔少，脈細数	生津潤燥
心陰虚証	陰虚	心	心悸怔忡，不眠多夢，イライラ，五心煩熱，口咽乾燥，両頬の発赤，健忘，潮熱，寝汗，尿黄，大便乾燥，舌紅，苔少，脈細数	滋陰養心
肺陰虚証	陰虚	肺	カラ咳，痰少量，午後頬の発赤，口咽乾燥，潮熱，寝汗，イライラ，体重減少，舌質紅少津，脈細数	滋陰潤肺
肝陰虚証	陰虚	肝	めまい，目が乾燥してしょぼつく，脇肋鈍痛，イライラ，五心煩熱，口咽乾燥，怒りっぽい，両頬の発赤，潮熱，寝汗，舌紅少苔，脈弦細数	滋養肝陰
脾陰虚証	陰虚	脾	食欲減退，食後腹脹，口乾舌燥，口唇乾燥，口渇，冷飲を好む，倦怠乏力，息切れ，しゃべりたがらない，便秘，舌紅無苔，脈細弱数	滋養脾胃

● 症例16 慢性肝炎

患者：張○，女性，44歳，幹部
主訴：肝区の痛み・倦怠無力，3年
現病歴：一昨年時々肝臓部位に痛みがあり，倦怠無力。近頃，肝臓部位の痛みはますます悪化している。煩・不眠・口渇・食欲不振・腹が脹る・胸脇が脹って痛い・手足心熱・腰膝がだるく痛む・大便はやや乾燥・小便正常。
望診：顔面紅潮
舌診：舌質紅・苔少
脈診：弦細数
検査所見：右肋骨弓下2cmの所で肝臓を触知できる。肝の部位に叩打痛あり。脾臓は触知できない。
既往歴：8年前，急性無黄疸性肝炎にかかったことがある。

定位：①肝腎：胸脇部の脹痛・腰膝がだるく痛むなどは肝鬱腎虚の症状である。
②脾：食欲不振・腹脹・倦怠無力は脾虚・脾失健運の症状である。
定性：①陰虚：煩・口渇・手足心熱・舌質紅・苔少・脈細数などは陰虚内熱の症状である。
②気滞血瘀：肝臓腫大・胸脇脹痛・腹脹などは気滞血瘀の症状である。
弁証：肝腎陰虚・脾虚運化失健・気滞血瘀
治法：滋補肝腎・健脾・理気活血
方剤：①杞菊地黄丸＋血府逐瘀湯＋香砂六君子湯
②沙参6g，枸杞子10g，何首烏6g，黄精6g，鬱金6g，党参10g，白朮6g，茯苓6g，丹参6g，红花3g，柴胡3g，木香3g，三七粉2g（分冲服）
方意：沙参・枸杞・何首烏・黄精……滋補肝腎
党参・白朮・茯苓……健脾補氣
柴胡・鬱金・丹参・红花・木香・三七……疏肝理気活血
全体として滋補肝腎・健脾・疏肝理気活血などの作用がある。
注意事項：生もの・冷たいもの・辛辣・酸味の強い食物・酒は控える。気持ちをリラックスさせて，イライラしないこと。長期治療が必疎である。